



国労近畿

第 244号
発行 羽生 隆盛
編集 木下 賢一
大阪市北区錦町2-2
TEL06-6354-0700
FAX06-6358-1465

組織の強化・拡大

公共交通を守り、労働条件の改善

平和な世界と日本の実現を

国労近畿地方本部 執行委員長 羽生 隆盛

組合員・家族のみなさん。そして、JRで働くすべての皆さん。新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが2類から5類となって以降、インバウンドが戻り、人の移動が日常的になりました。関西では、観光地や大阪・関西万博に多くの人が訪れ、JR西日本会社も第二四半期で過去最高益となりました。

ロシアのウクライナ侵略から約4年が経過し、パレスチナとイスラエル紛争をはじめとした複数の紛争が進行中です。アメリカのトランプ大統領による関税問題で輸出の鈍化やコスト増加が懸念されています。企業は、莫大な利益を内部留保に回すのではなく、「労働者に還元せよ」との

流れを、中小企業を含めて運動にしていこうと求められています。

昨年、高市首相は、「台湾有事」は日本が米国と共に中国への武力行使が可能となる「存立危機事態」に該当すると答弁し、日中関係は極度に悪化しています。また、高市首相の「働いて働いて働いて」という発言が、「新語・流行語大賞」

の年間大賞に選ばれたことに対して、過労自殺の遺族らが、「こんな言葉が独り歩きしては過労死がなくならな

い」と懸念を示しています。

また、高市首相は、厚生労働大臣に「労働時間規制の緩和」の検討を指示しました。現行の時間外労働の上限規制は、過労死認定ラインであり、これを緩和することは「働き方改革」の逆行となり、断固反対しなければなりません。

臨時国会では、企業・団

体献金の禁止を棚上げし、衆議院議員定数削減を強行しようとした。年明けの通常国会では、大軍拡、医療費4兆円削減の予算案、副首都構想、国家情報局創設、スパイ防止法などの法案を提出すると思われます。

の提案があり、一人乗務の運転士では運転中に車内での暴力行為や迷惑行為に対応できません。また、南海トラフ地震が発生すれば、利用者の命と安全を守る行動が、運転士一人では限界があります。

JR西日本会社は、あらゆる系統で「合理化」を提案、要員が削減されています。駅では、委託駅を直営に戻したうえで無人駅にし、みどりの窓口廃止や遠隔MVの導入などで、無人の時間帯が作られています。トラ

ブル発生で一番に困惑するのは利用者です。また車内でトラブルが発生すれば、乗務員が対応することになり、乗務員に過度な負担となり、列車の遅延で利用者に迷惑をかけています。

紀勢本線ワンマン運転化

また、輪軸不正問題などで、失墜した信頼回復に向け努力を続けています。社員に経営責任を転嫁し、社員犠牲の経営姿勢に、将来展望が見いだせず、退職を選択する若手社員が後を絶たれません。職場での闘いの強化でJR貨物会社の姿勢を是正して行くことが重要です。

地域公共交通活性化再生法の改正法が成立しましたが、地方ローカル線が、切り捨てられようとしています。昨年、近畿地方本部も

旗ひらき日程

近畿地方本部

1月10日(土) 11時

国労大阪会館

大阪地区本部

1月12日(月) 12時15分

国労南近畿会館

兵庫地域分会

1月17日(土) 11時

魚住事務所

京滋地域分会

1月17日(日) 13時

サントムーン

加古川線の視察を行いました。ネットワークとして、鉄道駅を中心にした交通政策、地域の足として鉄道はどう残すかという議論が必要です。

あらゆる問題を組織拡大運動に結び付け、一人一人の要求を大切に、運動を広げていく必要があります。

26春闘では、ストライキを背景に、すべての労働者の労働条件改善、大幅賃上げ獲得、国民的課題の要求解決に向け運動を強化しなければなりません。

今年は午年であり、平和を願って馬の故事から、新しい年が「帰馬放牛(きばほうぎゅう)」の世へ前進することを願います。

2026年 開春



本年もよろしくお願いします

執行委員長	羽生 隆盛
執行副委員長	有田 修
書記長	江口 芳生
執行委員	宮野 正貴
〃	西澤宗司郎
〃	木下 賢一
〃	山下 大輔
〃	山中 和也
青年部長	香川 博明
女性部長	谷澤由紀恵
会計監査	竹塚 秀二
〃	井上 賢治
〃	谷澤 昭男